

福島を伝える会

2011. 3.11 14:46 この時、あなたは「誰」と「どこ」にいましたか。

お身内、お知り合いに被災された方はいますか。

被災した方の居住地はどこですか。

以前通りに暮らせていますか。

「震災」から8年3か月になります。風化してきたと思いますか。

福島は津波と原発事故、ダブルの被災です。

被災当時、電力不足から街ではエスカレーターが止まり、照明が消され、計画停電があり、真夏もクーラーを控え、ひっそりと暮らしましたね。

電力の回復につれ、福島が首都圏の電力供給地であり、それがために多大な被害を被ったことは、意識の外に追いやられたようです。

未曾有の天変地異でも、時間が経過したら、忘れ去られてしまいます。少しでも地域の方々に伝えていきたい想いで、環境展に参加しています。大多数の方は「福島出身なのね」と言いますが私は関東人です。南相馬市の環境カウンセラー仲間の長澤利枝さんと出会い、現地を歩いただけです。作成したファイルは2012年6月から、鎌ヶ谷市の年2回の「環境展」に掲示しています。

あなたも伝えてくださいませんか。

活動目的

市民として、環境カウンセラーとしての視点から被災地の実情を広く訴える。マスコミには取り上げられない、このような活動が重要と考え、南相馬市を拠点とする定点観測的な状況報告に取り組む。

当市に於いては「相馬野馬追」の公式ホームページにも掲載される「鎌ヶ谷市民祭り騎馬武者行列」で福島県相馬地方とも縁が深く、被災地の実情は他人事ではありません。福島が忘れ去られることがないように、展示を続けます。

活動の実績

1. 2012年春 鎌ヶ谷市環境パネル展 「南相馬市を訪問して」
2. 同年秋 鎌ヶ谷市環境フェア展示「がれきを分別した町」
3. 2012～14, 17年 日経エコプロダクツ 全国環境カウンセラー連合会
4. 2013～2015年 南相馬市において”相双地域づくりサポート行事“ 展示
5. 2013年9月 環境カウンセラー全国連合会「関東ブロック活動報告」
環境パートナーシッププラザ（渋谷区国連大学）展示
6. 2013年10月 環境カウンセラー全国交流会（於千葉市）資料配布
7. 2013～2018年春秋 鎌ヶ谷市環境パネル展・環境フェア展示

東日本大震災から8年経ちました。3月9・10日に、表参道の賑わいから少し離れた「裏参道ガーデン」で、福島のパネル展示があり、10日は被災地の話をしました。

都内で活動する「やさしさの連鎖を社会に広げよう」という趣旨の(一社)RENSAさん主催です。

何年たっても3.11の記憶は鮮やかに甦ります。被災地の変化を記すことは、日課のようになりました。伝える手段があることは大変心強く、読んでいただけましたら幸いです。(長澤)



長澤さんのプレゼンテーション



表参道 竹下通りの賑わい